

墨田区議会 新しいすみだ会派報

令和7年 第1号 Vol.22

発行：墨田区議会新しいすみだ

墨田区議会議員

井上ノエミ



■ 会派代表 井上ノエミからのご挨拶

本会派報では、令和6年度の墨田区議会における会派「新しいすみだ」の活動をご報告します。

急激なインフレと物価高によって多くの区民の皆様はたいへん厳しい経済状況におかれています。そんな状況の中、日々の生活を頑張って暮らしている区民の皆様の生命と生活を守り、皆様が安心して暮らせる墨田区を実現するために全力で区政の改革に取り組んでまいります。本会派報では、昨年9月の墨田区議会定例会での私の質問と放課後対策・幼稚園の在り方特別調査委員会の活動の一部についてご報告いたします。

放課後対策・幼稚園の在り方 調査特別委員会の報告

すべての小学生に放課後の居場所をつくろう！

墨田区の小学校25校には、全部で約1万人の児童がいます。多くの家庭では親が働いているために子供達は放課後に安全な居場所を必要としています。墨田区では学童クラブを拡充して約3千人の受入れは可能になりましたが、まだ待機児童がいます。また学童保育は3年生までなので、高学年の子供達のために居場所が必要です。緑小学校、中和小学校、第三吾妻小学校の3校は、放課後に「いきいきスクール」を毎日開催しています。墨田区のすべての学校で、一日も早く放課後スクールを実現する必要があります。また、夏休み中の子供達の居場所も必要です。子供達のために予算を使う墨田区を実現するために私は全力で頑張ります。

区立幼稚園の改革に待ったなし！

区立幼稚園に入園する子供が減っています。令和6年度の入園者は、定員35名に対して、柳島幼稚園では5名、菊川幼稚園では6名しか園児がいませんでした。来年度も5つの区立幼稚園の定員175名に対して37人しか申し込みがありません。今年度は八広幼稚園を閉園し、柳島幼稚園は今後は新学級を開設しません。私は以前からこの区立幼稚園の問題を区議会でも取り上げてきました。年間約3億円の税金が区立幼稚園の運営に使われています。皆様の税金が有効に使われるためにも、本委員会で早急に改革案を提案したいと思います。



写真：令和6年9月定例会で質問する井上ノエミ議員

令和7年度墨田区予算に関する要望書

墨田区議会新しいすみだは、昨年12月、山本墨田区長に以下の要望書を提出しました。

墨田区長 山本亨殿

墨田区議会 新しいすみだ 代表 井上ノエミ

インフレによる物価の高騰が続くにもかかわらず、賃金は上がらない状況が続いています。厳しい経済状況にある多くの区民の生活を守るためには、弱者を守る政策のいっそうの充実が必要です。特に、高齢者、ひとり親家庭、障害児者や貧困児童の支援を充実することを要望します。

まず、行財政改革を徹底的に実施して、弱者を支援するための財源を確保することを要望します。

国民健康保険、介護保険の保険料は年々あがっており区民にとって大きな負担です。これ以上の値上げをしないためにも、無駄のない事業の実施と効率化を強く要望します。

さらに、高齢者が安心して暮らせるための、介護・介護予防事業のいっそうの拡充を要望します。また、住宅に困っている高齢者のための住宅支援事業予算の充実を要望します。

子育てのしやすい墨田区を作ることは優先課題です。保育園、幼稚園、学童クラブ、放課後対策のための「いきいきスクール」の予算の拡充をお願いします。また、学校教育の充実も重要であり、学力の向上・英語教育・不登校対策の効果的な実施を要望します。以上

高齢者をわらったお金の依頼の電話に注意！

ご高齢者の財産をわらった電話による詐欺が増えています。息子や孫、警察や役所などと名乗り、お金を要求します！ そんな電話があったら、お金を渡す前にまず家族や知人、警察に相談して下さい！自分の老後の資金を守りましょう！



令和6年9月11日 墨田区議会 定例会議会 井上ノエミ議員質問

災害時の避難所の冷暖房について

井上 能登半島地震では、多くの住民が学校体育館に避難したが、暖房がなく風邪で健康状態が悪化する高齢者が多かった。また、夏になり熱中症対策が課題になった。墨田区の対策を伺う。

区長 避難所となる体育館には空調機を整備してある。災害時には、空調機だけでなく、ストーブ、扇風機なども活用して適切な室温を維持する。

両国駅の駐輪場の整備について

井上 両国駅の駐輪場に関して、今後整備する計画はあるのか伺う。

区長 都営大江戸線両国駅近くの両国駅高架下自転車駐車場は満杯で候補地を探してきたが、適地がない状況だ。一方で、隅田川沿いの両国駅西口自転車駐車場や両国駅西口臨時自転車駐車場は稼働率が低く空いている。民間運営の駐輪場の誘導について検討している。

建物や住宅の断熱性能を向上させましょう！

寒い冬になると、住宅の脱衣所や浴室でヒートショックで亡くなる方が増えます。これは日本の住宅では、浴室が寒いために温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動して、失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすことによります。特に外気温が低くなる12月から2月の寒い時期は、入浴に注意が必要です。住宅の断熱性能が向上すれば室内全体が暖かくなり、寒い浴室もなくなります。健康の観点からも省エネの観点からも建物の断熱はたいへん重要です。今回は省エネの観点から、墨田区の公共施設の断熱対策を取り上げました。今後は、住宅の断熱性能向上のための施策についても提案していきます。

区政改革ホットライン inouenoemi@gmail.com

区政改革に区民の皆様のご意見をメールでお寄せください！

中学生海外派遣事業(オーストラリア)について



墨田区では本年度も中学生海外派遣事業を実施して、中学生20人がオーストラリアに行き、現地で英語の研修を受けました。区民の税金を使っての海外研修ですので、目に見える形で研修の成果を出していただきたい。例えば帰国後に英検で2級や準2級を取得するなどの成果を期待します。なお、昨年度の派遣では、2級合格者2名、準2級合格12名の実績を上げています。

墨田区の雨水利用の実績について

墨田区は、雨水利用に関しては1980年代から全国に先駆けて取り組んできました。当時、墨田区の多くの地域がゼロメートル地帯と呼ばれていて、大雨が降ると町が浸水する状態でした。下水道に排水された雨水があふれたり、河川の水位が上がって排水できずに浸水してしまう状況でした。その対策として墨田区では雨水をためて再利用することを始め、1985年に両国国技館が建設される時に、全国で初めての雨水利用の設備が設置されました。最近では東京スカイツリーにも雨水溜り設備が設置されています。雨水利用のためのタンクを設置する家庭もあります。雨水はためておけば、大地震が起きたときに消火活動やトイレの水として利用できます。

山本区長は、「今年8月に墨田区で開催された雨水ネットワークの全国大会を通じて雨水市民の会や千葉大学などと連携して、墨田区のレガシーを生かしながら、雨水先進都市すみだとして、リーダーシップを発揮していく。」と答弁しています。



山本区長は、「今年8月に墨田区で開催された雨水ネットワークの全国大会を通じて雨水市民の会や千葉大学などと連携して、墨田区のレガシーを生かしながら、雨水先進都市すみだとして、リーダーシップを発揮していく。」と答弁しています。

Inoue Noemi 井上ノエミ

- 企画振興委員会
- 放課後対策・延滞国の在り方調査特別委員会
- 墨田区社会福祉事業口評議員
- 墨田区障害者政策推進協議会委員

プロフィール



ホームページ▶ <http://inouenoemi.com>
ブログ▶ 墨田区議会議員井上ノエミ

X▶ Instagram▶ Facebook▶

南米ボリビア生まれ。大学卒業後、エコノミストとしてボリビア中央銀行、ボリビアとニューヨークの国連事務所勤務。ニューヨークで井上和雄(元衆議院議員)と結婚し、その後平成7年に来日。

平成21年、南米諸国との交流を促進するNPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し理事長に就任。平成22年に日本国籍取得。平成23年に墨田区議会議員に初当選。現在4期目。